

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日経平均株価、歴代3番目の下げ幅 膨らむパニック売り

・7日の東京株式市場で日経平均株価は3日続落し、前週末比2644円00銭(7.8%)安の3万1136円58銭で終えた。約1年5カ月ぶりの安値となった。トランプ関税に対し、4日夜に中国が米国からの全ての輸入品に34%の追加関税をかける報復を発表。貿易戦争の激化懸念から市場心理は一段と悪化した。

◆3月末の外貨準備高1.5%増、前月比 米国債の評価額上昇

・財務省が発表した3月末時点の外貨準備高は1兆2725億ドル(およそ185兆円)。2月末と比べて192億ドル(1.5%)増。増加は3カ月連続。保有債券の利息収入が増えたことに加え、米国の長期金利の低下で保有する米国債の時価評価額上昇。保有債券の多くを占める米国の10年債利回りは2月末に4.209%だったが、3月末には4.207%に低下。

◆2月の景気動向指数、3カ月連続上昇 基調判断は維持

・内閣府が発表した2月の景気動向指数(CI、2020年=100)は足元の経済状況を示す一致指数が前月から0.8ポイント上昇して116.9に。半導体製造装置の生産が増えたほか、エアコンなど耐久消費財の出荷が押し上げた。上昇は3カ月連続。基調判断は「下げ止まりを示している」で据え置いた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「公共建築工事標準仕様書」を改定 多様な木造化に対応

・国土交通省は2025年版の「公共建築工事標準仕様書」を公表。国が発注する一般的な事務庁舎の品質・性能の確保、設計図書作成の効率化、施工の合理化を図ることを目的として、おおむね3年周期で改定。今回の改定では働き方改革、生産性向上への配慮、木材利用の推進などの施策などを盛り込んだ。官庁営繕工事で適用。

◆25年中小企業実態基本調査、営業利益・経常利益は微増

・中小企業庁は2025年の「中小企業実態基本調査(2024年度決算実績)」の速報を公表。1企業当たりの売上高は2.1億円(前年度比0.3%減)、経常利益は991万円(同1.3%増)。従業者数は9.7人(2.7%減)。売上高が減少しているのは不動産業、物品賃貸業(20.1%減)、建設業(同4.8%減)など3産業。経常利益は運輸業、郵便業で増。

◆三協立山3Q、最終赤字4億円 建材需要好調も価格改定に苦戦

・三協立山が発表した2025年5月期第3四半期決算は、売上高が前年同期比1.1%増の2672億9900万円、営業利益は同23.1%減の20億4500万円、経常利益は同47.1%減の14億9300万円となった。売上増はマテリアル事業の好調や海外事業での為替差益。その一方で価格改定などの収益改善策が奏功せず、最終4億1300万円の赤字。

《 注目商品 》

■ツインバード、1台2役「空気清浄機能付き衣類乾燥除湿機(JS-E956W)」

・1時間あたり6.3Lの除湿性能でお部屋や洗濯物の湿気を取り除き、衣類をすばやく乾燥。空気清浄機能を搭載、内部の集じんフィルターが、花粉やハウスダストを約95%キャッチし空気をきれいに。ヒーターレスのコンプレッサー式。



■タカショー、設置が簡単なデッキ用シェード「シェードポーチサンレモ」

・屋根がないために設置したデッキを活用できていないという声を受け、簡単に設置できるデッキ用シェード「シェードポーチサンレモ」と「シェードポーチ用ウェイト」を開発。ウェイトを置くだけでポーチを設置できるため、床面へのボルト固定が不要。



■三協アルミ、防犯・施工性高めた型材フェンス・門扉

・型材フェンス「シャトレナⅡ」シリーズを拡充し発売。防犯対策として、フェンスに下柵隙間15mmの「下柵すき間小仕様」をラインアップ。隙間を狭くすることで侵入者の足掛かりを減らし、支柱が見えにくくすっきりとした見た目を実現。安価に防犯対策がとれる。

